

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3972600245		
法人名	社会福祉法人 黒潮福祉会		
事業所名	グループホーム 優夏		
所在地	高知県幡多郡黒潮町入野3512-2		
自己評価作成日	平成27年6月15日	評価結果 市町村受理日	平成27年9月14日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>事業所の基本理念である「生まれ育った地域の中での和やかな生活」と「いつも笑顔でゆったりと楽しく、家庭的な雰囲気づくり」に沿ったケアの実践をしており、利用者に寄り添い、家族同様の関係や地域との関係をより深めていくことを目指している。</p>
--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kihon=true&amp;jigyosvoCd=3972600245-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kihon=true&amp;jigyosvoCd=3972600245-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成27年7月24日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は県道に面し、近くに商店や民家があり、地域住民と交流しやすい環境にある。開設後11年が経過し、地域の盆踊りや避難訓練、ふれあいサロン等に利用者と共に参加し、地域の草刈り作業の時は、お茶の接待をする等、地域の一員として活動している。</p> <p>事業所で開催する年2回の懇親会には、地域住民も参加して家族や利用者と交流し、事業所及び利用者への理解を深めている。また、勤務年数の長い職員が半数を占め、管理者や職員同士の意思疎通も良く、働きやすい職場環境の中で、理念である「いつも笑顔でゆったり楽しく家庭的な雰囲気づくり」の実践に取り組んでいる。訪問者には感謝の気持ちを忘れず、訪問しやすい雰囲気づくりを心がけ、住民に散歩時に気軽に立ち寄ってもらうなど、利用者が来訪を楽しめるよう支援している。健康管理面では、食事前にアルコールでの手指消毒を取り入れてから、風邪等感染症の発生が抑えられるなど、利用者の安全や希望を確認しながら、その人らしい暮らしの支援に努めている。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名:

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	機会あるごとに理念を確認しながら、実践につなげています。	開設時に職員全員で話し合っって作成した、「地域の中で、ゆったり楽しく家庭的な雰囲気生活する」という趣旨の理念に沿って、利用者を年長者として敬い、家庭的で馴染みのある食事づくり等の実践に努め、気にかかる点があれば、個別に話し合っている。	職員は、理念に沿った支援に努めているが、経験年数の浅い職員もいるため、職員全員で理念をさらに共有できるよう取り組み、実践につなげていくことを期待したい。
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事(盆踊り・草刈)また事業所での行事(茶話会・避難訓練・敬老会・懇親会)に参加して頂き、利用者、職員と共に交流を深めています。	町内会に加入し、地域の盆踊りや避難訓練等に、利用者と共に参加している。地域住民は、事業所で開催する懇親会へ参加したり、散歩時に事業所へ立ち寄る等、日常的に交流している。また、野菜等の差し入れもある。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	人材育成としてヘルパー養成講座の実習を受け入れています。また、在宅で生活されている認知症の家族の方の相談にも応じています。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者状況や事業所の取り組み等を報告し、その内容に対し意見や助言を求めサービスの向上に生かしています。	運営推進会議は、事業所から状況報告を行い、メンバーから質疑や意見が出され、双方向的な会議になっている。外部評価結果も報告しているが、メンバーからの意見が少ない。議事録は出席できていない家族への配付がなく、周知が十分ではない。	外部評価結果と共に目標達成計画も会議で報告するなど議題を工夫し、併せて議事録を出席していない家族に送付し、周知することで会議の活性化につなげていくことを期待したい。
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	月1度以上は市町村に赴き、現状報告しています。課題解決には担当者として協議し、支持を仰いでいます。また、黒潮町介護サービス事業所連絡協議会に参加し、協力関係を築いています。	事業所は、毎月の利用者状況、介護認定調査結果等を町に報告するほか、運営推進会議や介護サービス事業所連絡会等の機会を通じて連携を図り、相談しやすい関係を築いている。	
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、研修や事業所内での日々の生活の中で常に確認し、理解できています。玄関や他の出入り口も日中施錠はしないこと、行動や発言の中に無断外出の前兆があることなどを予測し、見守りしています。	職員は、身体拘束に関する研修に参加して知識を共有し、日中は居室や玄関に施錠せず利用者を見守り、拘束感のない言葉かけにも留意してケアに取り組んでいる。現在、外出傾向のある利用者はいないが、地域の見守り協力は得られている。家族には、身体拘束の弊害を説明し、理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修・事業所内での研修等を行い、色々な虐待の事例を確認し虐待の予防に努めています。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要と思われる状態が発生した場合は、行政への相談や勉強会を開き、職員の理解を深め利用者の援助につなげていきます。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に至るまでに、本人様、家族様の意向、不安、疑問について傾聴し、十分に説明・納得して頂いてから契約しています。		
10	(6)	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	地区の代表の方に苦情相談員を委嘱し、利用者本人が意見、苦情を出しやすいように働きかけています。また、面会時には家族の方とゆっくり過ごせる機会を設けています。困っていること、不満なこと、職員へ希望されていることが無いが常に問いかけています。	利用者の意向は、日々の関わりの中で把握し、家族の意見、要望は、面会時や電話等で聞いている。家族の参加を得られやすい行事に合わせて年2回家族会を開催し、うち1回は地域交流を兼ねた懇親会にして、家族の思いを運営に反映するよう努めている。	
11	(7)	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会や日々の生活の中での気づき等、個々の意見、提案を求めています。職員より意見、提案があれば改善に向け取り組んでいます。	毎月の職員会や昼食後のお茶の時間等の機会を捉えて、職員の意見、提案を聞いている。職員から朝食の配膳時間を短縮するため、利用者毎に膳を用意する提案があり、業務に反映している。職員の異動に関する希望も聞いて、対応している。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員各自が目標を定め、目標達成に向けての取り組み等や日常の勤務状況にて総合的に評価しています。健康診断、腰痛検査も定期的に行われています。また、必要な時には業務の見直しを行い、職員間の輪を大切にしていくことでよりよい職場環境の整備に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取り組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画を作成し、研修会への参加をしています。法人内での研修もあり参加しています。また、事業所内での日々の業務の中での指導、育成も行っています。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内のグループホームで勉強会、意見交換会を行っています。また法人内でも各施設、事業所の代表による勉強会、意見交換会を行っています。高知県宅老所・グループホーム連絡会に加入し、情報を得ています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の話をじっくり傾聴し、その思いや不安を汲み受容し、ご本人の安心できる関係作りに努めています。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前に本人様、家族様と十分に話し合い、困っている事、不安な事を傾聴し、事業所としてどのような対応が出来るか説明し、納得、理解して頂くこと等で信頼関係を築いていけるよう努めています。		
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護サービス利用について戸惑いなどがある場合には、段階的なサービスの利用等を勧めたり、困った時にはいつでも相談して頂けるよう柔軟な対応をしています。		
18		<b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者一人ひとりの出来る事を見極め、出来ることには積極的に参加して頂き、協働しながら支えあっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	県外のご家族が多く、家族会に参加が難しい方もおられるため、お便りや電話での近況報告等を通じ、ご意見・ご要望を伺いながら支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ふるさと訪問やドライブ中に、近くを通る事で知人に合えたり、事業所に面会に来て頂いた時にはゆっくり話ができるように、居室等にて過ごして頂いています。	利用者、家族、親類等から聞いて、馴染みの関係を把握している。ドライブ時に自宅周辺を通ったり、電話で家族や親類に面会を働きかけている。また、家族の協力を得て馴染みの美容院を利用する等、これまでの関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人の時間を必要とされる方もおられますが、常に様子を伺い孤独にならないよう、適宜の声かけ等で皆さんと過ごされる時間も持つように支援しています。(レクリエーション・何気ない会話など)		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設、病院等に移られた方の情報を関係者から得たり、面会に行くこともあります。また、ご家族の方に近況をお尋ねすることもあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	居室、陽だまりなどでゆっくりと話を聞く時間を設け、困っていることややりたいこと等を尋ねたり、世間話の中からも思いを汲み取り、支援に生かしています。	利用者の意向は、利用者がくつろいでいる時間に聞き、外食や外出、献立等の希望を把握し、対応可能なことから取り組んでいる。意思表示が困難な利用者は、表情等から思いを推察したり、家族から情報を得ている。しかし、把握した利用者の思いや希望等が、十分には記録されていない。	利用者、家族の意向に沿った支援を職員全員で継続的に実践するため、得られた情報を記録して整理するなど、その人らしい暮らしの実現に活かしていくことを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や家族・知人の面会時、日々の暮らしぶりから情報を得たり、利用者本人の会話の中から生活歴等の把握をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活リズムを把握し、できること、興味のあることに注目し、残存能力の把握に努めています。		
26	(10)	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者が少しでも自分らしい生活を送れるように、本人、家族の希望を伺いながら職員会、カンファレンス等で意見交換を行い、利用者一人ひとりに合った介護計画を作成しています。またアセスメント、モニタリングをしながら期間ごとの見直しをし、よりよい支援につなげています。	利用者、家族から暮らし方の希望を聞き、毎月の職員会、ケース会議で意見を出し合い、介護計画を作成している。担当職員と管理者が毎月モニタリングを実施し、3カ月毎に計画を見直している。入退院等による状態変化時は、その都度見直している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の援助の中での小さな気づきや工夫をした結果、状態の変化を記入し、就業時確認し、情報の共有に勤め、日々の業務や介護計画の見直しに活かしています。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じ随時の通院、外出、外泊への援助をしています。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の区長さんをはじめ、ご近所の皆さんのご協力を頂き、地域のミニデイサービスや盆踊等、地域の行事に参加させて頂き、交流の場を提供していただいています。		
30	(11)	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望される病院の受診を援助しています。受診時、家族、医師との情報交換もしています。皮膚科、整形外科等、必要な診療科への通院援助もしています。歯科医の往診も受けることができます。	利用者、家族の希望するかかりつけ医への受診を支援している。かかりつけ医、専門医共に、職員が受診に付き添っている。受診結果は、電話等で家族に連絡し、職員は、連絡ノートや業務日誌等で情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職との協働</b> 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	1週間分のバイタルチェック表や記録を見て頂き、健康相談や助言をいただいています。また、急な体調変化等が見られたときには、電話等にて相談指示を受けることもあります。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、なるべく短期間で退院できるように、医療機関への情報の提供や、退院後の状態を予測しケアについての話をしています。		
33	(12)	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、本人家族の希望があれば、十分な話し合いをしながら、事業所でできる事等を理解していただき、支援につなげていきたいです。	入居時に、看取りの指針に沿って、事業所で対応できるケアについて説明し、同意を得ている。今まで、事業所で看取りをした事例はないが、希望があれば対応できるように、職員の研修を行うとともに、医療等関係者との連携を図っている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得て、緊急時の応急手当やAEDを使用した蘇生術の研修を受けています。事業所内でも機会ある度に、手順の確認等を訓練し、緊急時に備えています。		
35	(13)	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力をいただき、火災の避難訓練、自動通報装置の使用方法等の訓練をしています。地震等の災害時を想定した訓練も行い、地域での夜間訓練への職員参加も始めています。	消防署の協力を得て年2回の火災総合訓練と地震を想定した避難訓練を実施しているが、地域住民の参加協力は得られていない。津波時の避難道が完成し、管理者と職員は、避難方法等について確認している。消火器等の設備点検や3日分以上の非常用食料の備蓄、備品の準備もしている。	事業所は、津波の予想浸水地域になっており、今後も、運営推進会議を活用して地域住民の協力を得るための取り組みや、職員と利用者が一緒に訓練を繰り返すことにより、確実な避難誘導に結びつくことを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会議や記録の際、個人名を出さないように注意しています。また、失禁等何か失敗した時には、さりげない声かけをし、対応しています。	職員は、利用者の尊厳に留意して、トイレ誘導時等の表情や動作から思いを汲み取り、目立たないよう支援している。日常の言葉かけは、丁寧を基本として利用者の希望に沿ってケアしている。また、利用者のプライバシーを外部に漏らさないよう職員に徹底している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者のご希望を尋ねたり、2ないし3案を上げたりし、選択できるようにして希望に沿った支援を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れはあるも、起床時間もその時に応じてずれることもあります。その時の状態、気持ちを尊重し、できる限り個別の対応を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った服装、好みの服を選んで着ていただいています。利用者一人ひとりの個性に応じた身だしなみや、おしゃれを支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえを手伝って頂いたり、テーブル拭きなど準備の手伝いをして頂きながら、配膳までの間、職員と話をして頂いています。また、近所の方より頂いた季節の野菜や、庭のヤマモモ・ブラックベリーなどの収穫もしていただいたりして、季節を感じて頂けるように考慮しています。好みに合ったものの提供で楽しみのある食卓になり、会話も弾み、楽しく和やかに食を進みます。	利用者の希望を献立に取り入れ、地産地消による馴染みのある食事を提供して、食事が楽しみとなるように支援している。利用者は、職員と共に、各自の力を活かして、下準備や配膳等に参加している。また、職員は、利用者と一緒に食事をして、楽しい雰囲気づくりに努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	下ごしらえを手伝って頂いたり、できる事への参加を促しています。毎月1回、管理栄養士による指導を受けています。毎食の摂取量のチェック、料理の盛り付けの工夫、栄養バランスの良い食事で偏食を防いでいます。また、個人毎の水分摂取量を把握し、外出後、入浴後等こまめな水分補給を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けをし、個々の能力に応じて介助、見守りを行っています。週1回、義歯洗浄剤にて洗浄しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のサインを見逃さないようにし、失敗してもさりげなく傷つけないように声掛け対応しています。随時の声掛けも行い、見守り等の支援をしています。	日中は利用者全員、夜間もポータブルトイレ使用の若干名を除いて、トイレでの排泄を支援している。入居後、紙パンツから布パンツに移行した利用者も含め、利用者のほとんどが布パンツを使用しており、トイレ誘導による排泄の自立に向けた支援を行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前の水分補給や野菜を多く散り入れた食事の提供とともに、散策や体操等で体を動かし、排便を促しています。また、朝食後のトイレで座っていただくこともあります。排便困難な場合には、主治医に相談し下剤の服用での対応も行っています。		
45	(17)	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	午後の入浴担当職員が出勤後、希望に応じ入浴できます。入浴拒否等の場合は時間をおき、再度の声掛けをしています。	散歩後のシャワー浴や毎日の入浴等、利用者の希望に応じた入浴支援をしている。入浴を拒む利用者には、担当や時間を変更する等、対応方法の工夫により、入浴につなげている。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないように、日中の活動の援助を行い、夕方から就寝に向けて、心が安らぐ時間をすごして頂けるように支援しています。不安や不眠などで入眠できないときには、適宜な声掛けにて安心して入眠できるように支援しています。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が薬の効能を把握できるようにファイルにまとめたものと、各個人の薬入れの中にも説明書を入れてあります。また、投薬等に変化があった場合には、引継ぎ簿に記入して全職員へ周知し、服薬後変化等が見られたときには記録に残しています。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の暮らしの中で、利用者の経験や知識を発揮できる場面を作っています。暮らしぶりをお便りで、家族と共有できるようにしています。嗜好品も買い物代行等にて希望され、楽しまれています。		
49	(18)	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望などを伺いながら、ドライブや散策、花見など、季節を感じることで出来る外出支援を行っています。それぞれのその日の体調等に合わせながら、柔軟な対応をしています。	利用者の希望に沿って、外出を支援している。外出希望は少なく、希望者が月1~2回ドライブに出かけている。ほとんどの利用者が、戸外に出るのは玄関前に置かれたベンチ周辺までにとどまっている。	外出をこれまでの暮らしの継続として捉え、また、日常生活動作の低下を防ぐ意味でも、広い裏庭を活用する等の工夫により、日常的な外出支援に取り組むことを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族から小遣いをもらわれたり、事業所で預かりの小口現金より希望時に渡すように、家族の方より依頼のある方もおられます。買い物を希望されるも、職員による買い物代行が多くなりました。		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じ、利用者本人が電話されています。手紙の代読も、ご希望に沿って支援しています。		
52	(19)	<b>○居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング等に、年間を通じて季節を感じられる飾り付けを一緒に行い、それぞれの季節の行事を楽しんでいただけるよう取り組んでいます。また、その季節の花を飾るなどして目で楽しみ、心が和むように努めています。	共用空間は、採光がよくゆったりとしていて、コーナーにはベンチを配置し、利用者が周囲の景色を眺めながら思い思いにくつろげるようにしている。壁面には、季節の花の折り紙を飾り、玄関には、生花や観葉植物が置いて季節感に配慮し、居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		<b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	陽だまりに長椅子を置き、気の合う仲間同士で気ままに過ごしていただいています。		
54	(20)	<b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、使い慣れた物等を持って来られてよいことを説明しています。仏壇、テレビ、筆筒等、利用者の好みの物が持ち込まれています。	明るい居室には、備え付けのベッド以外に、使い慣れたタンスや椅子、テレビ等が持ち込まれている。壁面には、家族写真や利用者が作成したぬり絵等が飾られ、なかには職員が手作りした仏壇で位牌を祀るなど、一人ひとりの思いに沿った居室づくりを行っている。	
55		<b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下に手すりを付けることで、安心して移動ができるようになりました。シルバーカーを使用されている方も、譲り合いながら廊下等の移動をされています。		

ユニット名:

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの			○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある			○	3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				